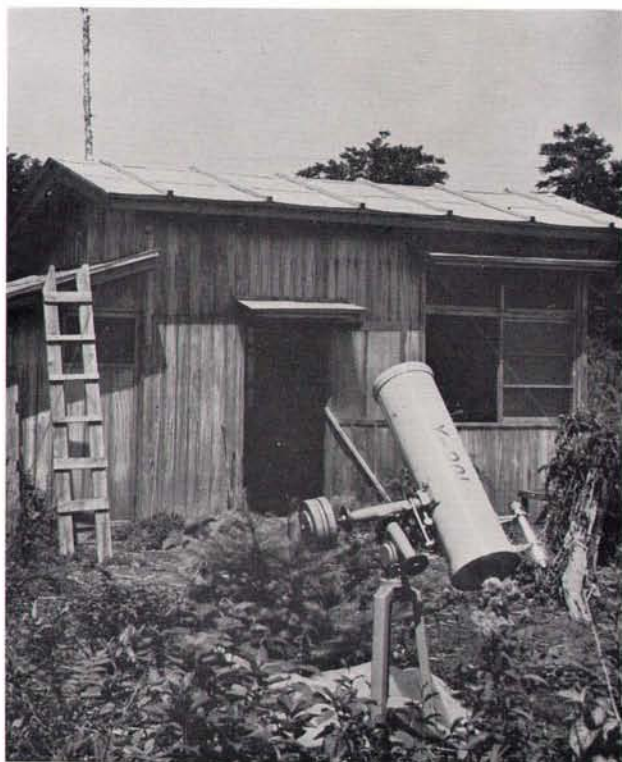
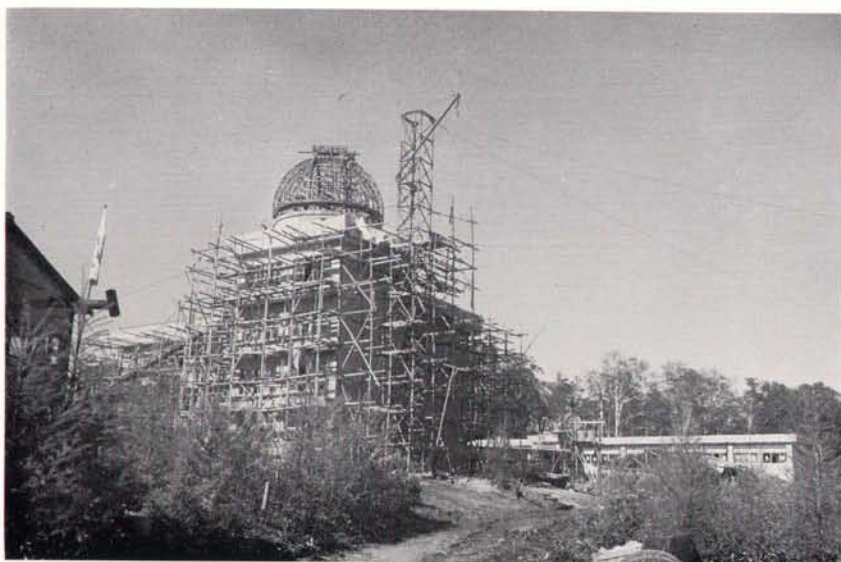


飛驒天文台 (I)

近年、京都大学花山天文台の東南にひろがる山科地区が発展して夜空が明るくなるとともに、付近に各種の自動車道路が開通した結果、研究環境が著しく悪化してきた。このような状態にある花山天文台に、現在よりも強力な観測機械を設けることは不適當と考えられるので、岐阜県の大雨見山頂に新しく飛驒天文台を設置することになったのである。従来の花山天文台における研究および教育活動が、恵まれた研究環境の下に一層発展することが期待されている。



大雨見山の観測小屋 (42年8月)

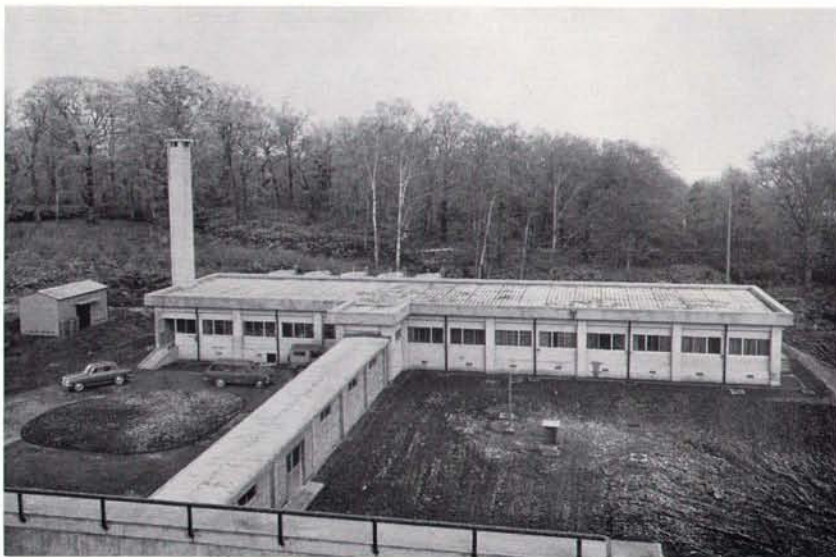


建設中の研究棟

飛 驒 天 文 台 (II)

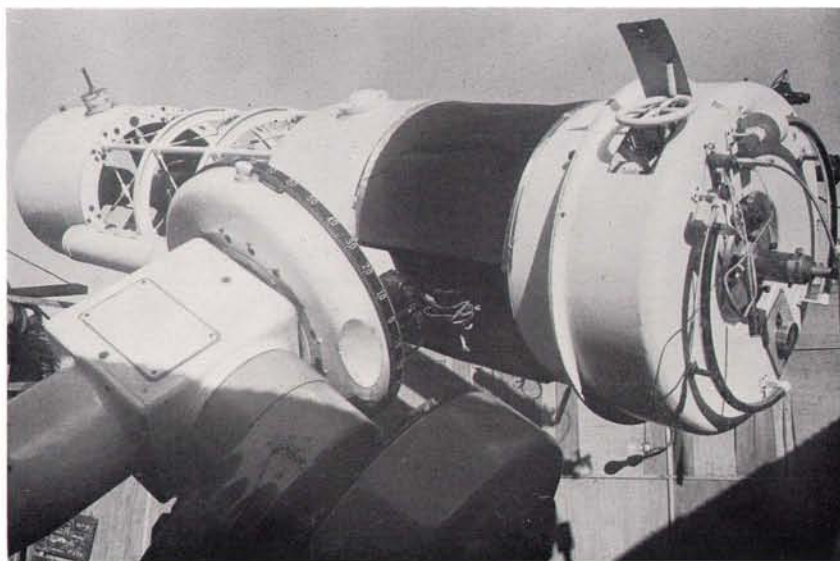


開所式でテープを切る奥田京都大学学長（43年11月27日）

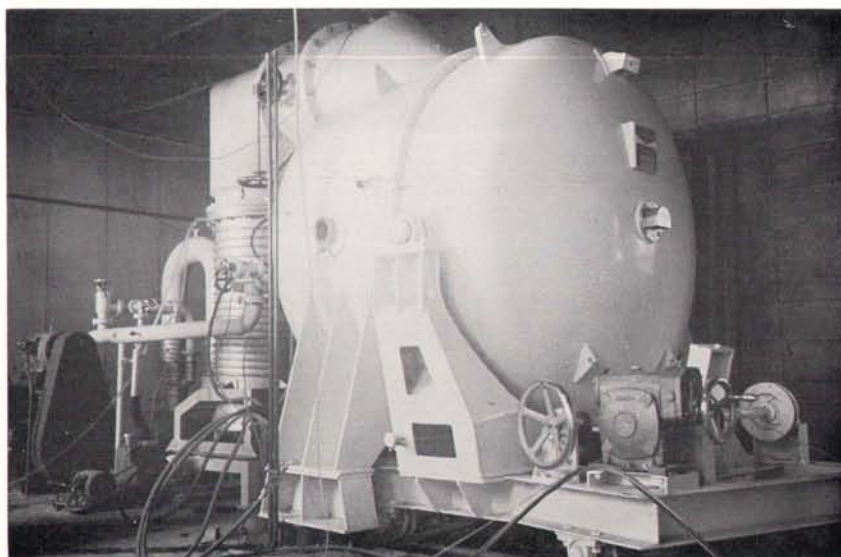


管 理 宿 泊 棟

飛驒天文台 (III)



60センチ反射望遠鏡



真空蒸着装置